



2023年11月1日

各位

会社名 ローム株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員
CEO 松本 功
(コード:6963、東証プライム市場)
問合せ先責任者 IR室室長 永吉 秀成
(TEL.075-311-2121)

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ及び 業績予想の修正に関するお知らせ

2023年5月9日に公表しました2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2024年3月期の通期連結業績予想値を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差 (2023年4月1日～2023年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------------------------|----------|---------|--------|----------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 250,000 | 33,000 | 33,500 | 28,000 | 71.32 |
| 実績値 (B) | 239,319 | 29,833 | 50,098 | 37,305 | 95.37 |
| 増減額 (B-A) | △ 10,680 | △ 3,166 | 16,598 | 9,305 | - |
| 増減率 (%) | △ 4.3 | △ 9.6 | 49.5 | 33.2 | - |
| (参考)前第2四半期(累計)実績 (2023年3月期) | 259,912 | 50,403 | 70,913 | 52,126 | 132.79 |

(注)当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

2. 2024年3月期通期連結業績予想値の修正
(2023年4月1日～2024年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|------------------------|----------|----------|----------|-----------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 540,000 | 75,000 | 87,000 | 70,000 | 178.31 |
| 実績値 (B) | 500,000 | 53,000 | 70,000 | 59,000 | 151.77 |
| 増減額 (B-A) | △ 40,000 | △ 22,000 | △ 17,000 | △ 11,000 | - |
| 増減率 (%) | △ 7.4 | △ 29.3 | △ 19.5 | △ 15.7 | - |
| (参考)前期実績 (2023年3月期) | 507,882 | 92,316 | 109,530 | 80,375 | 204.66 |

(注) 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

3. 差異の理由及び修正の理由

2024年3月期第2四半期累計期間においては、為替レートが想定より円安に推移したことによる為替差益の計上により、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が大幅に増加し、前回発表予想を上回ることとなりました。

また、世界経済は、地政学リスクへの警戒、世界的なインフレーションによる金利上昇、加えて不安定な為替相場などにより、依然として先行きが不透明となっております。エレクトロニクス市場においては、気候変動対策や脱炭素化社会に向けた省エネルギー化の一層の促進に加えて、各国における工場の自動化・デジタル化投資などは順調に推移していくものと思われまます。自動車市場においては、自動車生産台数の増加、また電動化・電装化が更に促進される見通しであり、注力しているパワー・アナログ製品を中心に採用が拡大し順調に成長していくことを見込んでおります。一方で、民生機器市場、コンピュータ&ストレージ市場は後半から徐々に回復基調へ転じる見込みですが、上期の市場減速の影響が大きく、通期全体では前年に対する伸びは低調になると見込んでおり、全体としては当面は厳しい状況が続くと考えられます。

ロームグループにおいては、経済不安による市場の減速、在庫調整の影響により、2024年3月期の売上及び利益は期初の想定を下回る見通しです。

以上のような状況を踏まえ、2024年3月期の通期連結業績予想につきまして、上記のとおり修正いたします。

なお、下期の為替レートは、1米ドル=140円を前提としております。

<業績等の予想に関する注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上